

各部会の報告（運営会議実施日： 6月 4日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

相談支援部会		
前回の開催内容報告	令和8年 5月 13 日（水）13：30～15：00	参加人数 21 名
今月の内容としては、今年度の相談支援部会についての説明と、部会長に「帯広けいせい会」の河井さん、副部会長に「クリアーレ」の松下さんの選出・承認を行い、各事業所からの情報交換、その後話題提供、グループワークを行った。 情報交換の中では、各事業所の体制や現状等について報告、共有し、事例検討報告では、3月に行った事例提供者から、その後の服薬管理ができない方への支援で、医療との繋がりを密に、関わったケースでの経過報告があった。 次に、話題提供として、障害福祉のほうから「モニタリングの理由書について」説明があり、これまでの経過と目的、その評価、今後の対応について説明があった。 それについてのグループワークを行い、モニタリングの頻度についての考え方や、記入についてや根拠の記載の仕方等を具体的に確認し、統一できることの共有をした。 今年度は年9回の開催を予定し、事例検討と研修、勉強会等で、日々の相談支援専門員の実務に活かした学びと検討の場として実施をしていく。		
次回開催予定		
○令和8年度 7月 1日（水） 13：30～15：00		
精神保健部会		
前回の開催内容報告	令和8年 5月 20 日（水）13：30～15：00	参加人数 28 名
今月の内容は、今年度の精神保健部会についての説明と、部会長に「生活支援センター」森さん、副部会長に「大江病院」の匂坂さんを選出、承認を行い、各事業所の情報交換を行い、今年度の体制等について確認をした。 その後、事例を通した意見交換や検討の中で、医療関係者から、障害のグループホームに住んでいる方の外出支援について、ひきこもり傾向の方への関りやアドバイス、また、成功した事例として、本人の興味のあることをきっかけに会話が少しずつ弾み、外に出られるようになった報告があった。 あと、若年層の方の自殺が多いとの報告があり、自殺企図のある方への支援についてや、伴走型支援について、それぞれの立場で役割分担ができるよう話し合いができた。 また、昨年度に引き続き、精神部会は毎月開催をしていく。「にも包括」について、今年度も市と協力しながら、精神保健部会として、精神障がいのある人が暮らしやすい社会づくりのため、地域の支援体制や生活のしづらさについて、参加者みんな考えていけるよう取り組んでいくことを共有した。		
次回開催予定		
令和8年6月17日（水）13：30～15：00		

就労支援部会		
前回の開催内容報告	令和 8 年 5 月 25 日（月）13：30～15：30	参加人数 27 名
今月の内容は、部会長に「きらり」高橋さん、副部会長に「ちあファクトリー」の小関さん、「十勝障がい者就業・生活支援センターだいち」の佐藤さんを選出、承認を行い、今年度の事業内容の決定、各事業所の情報交換を行った。 令和 8 年度の事業内容は、昨年度に行ったアンケート調査の結果を基に、昨年も好評であった事業所見学と就労支援に関する研修を引き続き行うほか、事業所の共通課題に関する情報交換会や、多職種が関わる事例検討を行うことで決定した。 情報交換会では、①「経験年数に応じた悩み・不安」②「支援員の育成について」2つのテーマについて、4グループに分かれて意見交換、情報交換を行った結果、「経験年数に応じた研修の必要性」「人手不足で、人材の定着にも繋がらず不安である」など、各事業所の状況や悩みを共有し、交流を図った。 その他、帯広市役所での職場体験実習の募集について説明。 地域福祉課からの情報提供として「ひきこもり支援のための就労体験事業」実施についての説明があった。 今年度は、年 4 回の開催を予定し、情報交換、施設見学、研修会、事例検討会等で、事業所の共通課題に関する情報交換や多職種が関わる事例検討会を行うことを共有した。		
次回開催予定		
令和 8 年 7 月 1 5 日（水）日程再度調整、市民活動プラザ六中（2 事業所）の施設見学		